

## 久慈 & 二戸地区平和集会

久慈地区平和集会 38名参加  
7月28日 18時～九戸教育会館  
二戸地区平和集会 50名参加  
7月29日 18時半～二戸シビックセンター

今年度の平和運動はコロナウイルス感染拡大防止のため、イベント開催制限の段階的緩和の方針「屋外の場合は十分な間隔（できれば2メートル）」への対応として平和行進は中止としました。

また、平和集会も会場の収容率50%未満とすることに準じて、参加規模を縮小して開催しました。

平和行進の時間を活用し、久慈地区の集会では2014年のノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイさんの受賞スピーチ、二戸地区では「美ら海沖縄・摩文仁からのメッセージ」を上映後に、平和な世界の実現を目指し集会アピールを提案し、参加者全員からの拍手で承認をいただき、今後も協力し合い活動を進めていくことを確認しました。

両地区の平和運動実行委員会ではコロナウイルス感染防止の観点から集会の実施について話し合い、このような状況下でも平和集会だけは、規模を縮小し感染防止の対応をした上で実施した方が良いのではないかなという意見があり、唯一の被爆国である日本は全国各地から恒久平和に向けた取り組みを継続していかなければならないという考え方で一致し、開催しました。

久慈地区実行委員会  
実行委員長 三浦健二

二戸地区実行委員会  
実行委員長 中田茂



岩手県議会議員  
岩城 元様

久慈市議会議員  
豊巻 直子様



社民党久慈支部  
代表 梶谷 武由様

集会アピールの提案  
実行委員 近藤 睦

高校生1万人署名実行委員の大野高校2年生の大村愛果さんから平和に対する思いを語っていただきました。

《戦争で被爆し今もお苦しんでいる人々がいる。世界で唯一の被爆国として核兵器廃絶と戦争の悲惨さを訴えていきたい。今、東日本大震災の被災地の現状や国際連帯の大切さをスローガンの「微力だけど無力ではない」を掲げ訴えて活動をしています。平和な世界の実現を願っています》



平和集会に久慈市の遠藤 譲一市長、二戸市の藤原淳市長から平和な社会の実現に向けたメッセージを頂戴いたしました。



岩手県議会議員  
五日市 王様



集会アピールを提案  
青年委員長 向井元信

二戸地区原水爆禁止協議会  
代表 鈴木 忠幸様



福岡高校2年  
阿部佑月さん

高校生1万人署名活動実行委員から、手書きのメッ  
セージをステージ前段に掲示していただきました。



高校生1万人署名活動では、コロナウイルス感染防  
止対策として、今年は声を出さずに手書きのメッセー  
ジを作成し、訴えを行っています。  
実行委員の阿部佑月さんからも平和に対する思いを  
語っていただきました。

《高校生平和の旅に参加し、長崎で被爆者の話を聞き  
ました。核兵器は一瞬で多くの人の命を奪い、被爆者  
の心に傷を残してしまうものだと思います。今は人の役  
に立ちたいと思い高校生1万人署名活動をしている。  
署名は被爆者や核兵器をなくすために必要なもので皆  
さんの力を貸してください。》



写真左は洋野町の水上信宏町長

### 2020年平和運動に関する要請活動

連合岩手県北地域協議会・平和環境久慈地区センター・久慈地区友愛  
会の労働3団体は沿岸4市町村に1・広島への原爆投下時間と長崎へ  
の原爆投下時間の黙とう、2・原爆投下時間と終戦の日にサイレンの  
吹鳴、3・広報等にこの取り組みを掲載し、市町村民に参加を啓発す  
ることの3項目を要請しました。

要請日とご対応していただいた方

7月10日(金)	久慈市	対応	遠藤 譲一市長
7月13日(月)	洋野町	対応	水上 信宏町長
	野田村	対応	小田 祐土村長
	普代村	対応	柁屋 伸夫村長



写真左は野田村の小田祐土村長

写真左から久慈市の豊巻直子市議、平和環境久慈地区センターの三浦  
健二議長、連合岩手県北地域協議会の坂本敏美事務局長、久慈市の遠  
藤譲一市長、社民党久慈支部の梶谷武由代表



写真左は普代村の柁屋伸夫村長

